

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 16 日（土） 18:00～22:00

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 佐藤・久木田・志戸田・小川（君）・野原・大三島・杉本・天谷・山本・高橋・古澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	事 1人 個 1人	事 10人 個 9人	事 1人 個 1人	個 2人	事 11人 個 13名

前回の改善計画	
<p>・職員が自ら率先して利用者、家族と積極的にコミュニケーションを図り、支援に必要な情報（特に、初期支援時は、本人・家族の状況、不安、悩み、求めていること、配慮すべきことなど）を得た時には、記載できる記録用紙（新たなアセスメントシートを作成）を使用し、その都度、申し送り時に共有した情報を、その場で記載していくことを徹底していく。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 70%
<p>・新たなアセスメントシート作成までは出来なかったが、初期支援時に利用者・家族に積極的に関わりを持つことが、事業所として意識して取り組むことができていること、情報収集に努めることが出来ていた。しかし、それぞれ職員の情報把握にバラつきがあり、チームとしての情報共有が出来ていない。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	事 1人 個 3人	事 10人 個 7人	個 1人	個 2人	事 11人 個 13名
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	個 1人	事 7人 個 9人	事 4人 個 2人	個 1人	事 11人 個 13人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	個 2人	事 3人 個 9人	事 8人	個 2人	事 11人 個 13人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		事 5人 個 9人	事 6人 個 3人	個 1人	事 11人 個 13人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>・利用者、家族と積極的に関わりを持つことが出来ており、事業所と自宅を繋ぐことが出来ており、円滑にサービス提供が出来ている。</p> <p>・情報提供、情報共有という相談から実践という流れは、スムーズに行なえている。</p>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>・情報提供は出来ているが、チームとして共通認識を持って支援できていない。</p> <p>・初期支援時、特に家族の考えや価値観を理解しようとする意識が低く、職員の考え、価値観を押し付けていることがある。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<p>・新規の利用者を受け入れ時に、初期支援チームを作り、本人や家族の状況や想いや考えなどの情報共有を図り、本人、家族への支援を統一していく。本人、家族が事業所に慣れ、居宅サービス計画書の軌道に適切に乗っかるまで適宜、評価を実施していく。必要に応じて、居宅サービス計画書の変更も検討していく。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 16 日 (土) 18:00～22:00

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 佐藤・久木田・志戸田・小川 (君)・野原・大三島・杉本・天谷・山本・高橋・古澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		個 8人	事 11人 個 2人	個 3人	事 11人 個 13人

前回の改善計画	<p>・利用者の「～したい」という長期的目標を、事業所だけ支えるのではなく、家族、地域を巻き込んで考えていく必要があり、少しずつ介護計画書をライフサポートプランへ転換し、自己決定、自己実現へのプロセスを視覚化していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 40%
	<p>・ライフサポートプランへの転換はできなかったが、利用者の想いや意思に寄り添い、様々なことを挑戦することができた。しかし、事業所全体として共有することはできていなく、また利用者の状態によって、その差がある。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		事 1人 個 5人	事 10人 個 7人	個 1人	事 11人 個 13人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		個 7人	事 11人 個 5人	個 1人	事 11人 個 13人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		個 5人	事 11人 個 7人	個 1人	事 11人 個 13人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	個 2人	事 1人 個 6人	事 10人 個 4人	個 1人	事 11人 個 13人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>・自ら意欲の高い人には、「～したい」という想いに寄り添って様々なことが出来ている。</p> <p>・段階的、継続的に利用者の社会参加や社会貢献に繋がるような関わりを持つことが出来ており、日々の生活の生活意欲や刺激に繋がっていると感じている。</p>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>・利用者が自ら声に出せない声を生活の中で引き出しことができず、その時の想いや感情を代弁することが出来ていない。</p> <p>・本人の目標に沿って、その時の想いや感情で「～したい」ということに単発では実施出来ているが、チームとして情報共有を図って、日々の関わりから機会を持つことができていない。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<p>・利用者の出来ること、得意なことなどを日常的に関わることが出来るように、職員の対応や環境等を整え、利用者との日々のかかわりをチームとして実していく。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 16 日 (土) 18:00~22:00

3. 日常生活の支援

メンバー 佐藤・久木田・志戸田・小川 (君)・野原・大三島・杉本・天谷・山本・高橋・古澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		事 1 人 個 8 人	事 1 0 人 個 4 人	個 1 人	事 1 1 人 個 1 3 人

前回の改善計画	<p>・サービス支援場面において、利用者の想いや考え、普段の暮らし、生育歴など、コミュニケーションを通して得た情報をその都度、記録様式に記載し、支援する上で必要なこれまでの暮らしの情報収集と情報把握に取り組んでいく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 50%
	<p>・利用者から得た記録を意識的に書くということが事業所で根付き、現在の情報量は増えたが、利用者との会話から得た情報や生育歴についてなど、その人のパーソナリティとなる背景が書かれていない。原因として、現在の記録用紙では記載場所がない為、職員の意識として共有が出来ずにいる。新たな記録用紙シート作成も検討していく。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		事 6 人 個 3 人	事 5 人 個 7 人	個 3 人	事 1 1 人 個 1 3 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	個 2 人	事 1 0 人 個 6 人	事 1 人 個 5 人		事 1 1 人 個 1 3 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	個 1 人	事 1 1 人 個 8 人	個 3 人	個 1 人	事 1 1 人 個 1 3 人
⑤	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	個 4 人	事 9 人 個 8 人	事 2 人 個 1 人		事 1 1 人 個 1 3 人
⑥	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	個 1 人	事 1 人 個 9 人	事 1 0 人 個 2 人	個 1 人	事 1 1 人 個 1 3 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>・体調の変化については、その都度、各専門職がそれぞれの視点で情報共有を図り、適切にチームとして対応できている。</p> <p>・利用者の現在の暮らしに合わせて、必要な支援をチームとして共有することが出来ている。</p>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>・基礎的な介護方法の統一が図れていないことがあり、何を大切に支援するのか事業所としての考えを共有できていない。</p> <p>・利用者のその時その時の「～行きたい。」など「～したい。」という想いや気持ちの記録がなく、またすぐ行動に移すことができず、後日対応している現状である。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<p>・利用者の「～したい」などの想いや気持ちなど、受け止め、支えていくことを事業所として共有するために、記録に想いや気持ちなどの記入していくことを意識的に取り組んでいく。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 16 日 (土) 18:00~22:00

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 佐藤・久木田・志戸田・小川 (君)・野原・大三島・杉本・天谷・山本・高橋・古澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	個 2人	事 1人 個 5人	事 10人 個 5人	個 1人	事 11人 個 13人

前回の改善計画	<p>・地域の行事への参加や事業所の行事での機会を活用し、利用者と地域住民との交流の機会を持ち続けることで、これまで利用者が培ってきた地域での暮らしや地域住民との関係性など、得た情報を記録様式 (アセスメントシートやエコマップ等) に整理していくことで、利用者を取り巻く関係に触れながら、繋がりや再構築や地域の資源を活用し、地域での暮らしを支援していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 60%
	<p>・地域行事を開催したり、地域の行事に参加したりと、地域とのつながりを持ち続けることが出来ており、顔なじみの関係と交流が図れている。しかし、職員が元々の利用者が地域で暮らしていた状況を把握できていないことが多く、その地域で暮らす力を活用できていないことがある。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		事 5人 個 7人	事 6人 個 5人	個 1人	事 11人 個 13人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		事 8人 個 10人	事 3人 個 2人	個 1人	事 11人 個 13人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		個 4人	事 11人 個 7人	個 2人	事 11人 個 13人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		事 5人 個 4人	事 6人 個 6人	個 3人	事 11人 個 13人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>・行事などを通して、利用者が昔ながらの関係がある地域住民と交流が図れている。</p> <p>・現在、地域の自治会役員や民生委員、各地域の自治会長を把握しており、利用者や事業所の状況により、相談や協力につながることが出来ている。</p>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>・日常的に地域と関わることが出来ていなく、事業所と自宅を行ったり来たりで、地域との関係性が途切れてしまいそうな利用者もいる。</p> <p>・利用者から地域で暮らしてきたの体験や想いなど、話を聞くことが少なかった。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<p>・利用者がどのように地域で暮らしてきたか、何を思っているのか、何を大切に暮らしてきたのか、ゆっくり話を聞く機会を持ち、利用者への理解を深めていく。</p> <p>・事業所と地域での暮らしが途切れる事なく、継続的に繋がることのできるように、今後も継続して地域行事を開催していく。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 16 日（土） 18:00～22:00

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 佐藤・久木田・志戸田・小川（君）・野原・大三島・杉本・天谷・山本・高橋・古澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	事 4人	事 7人	個 2人	個 1人	事 11人 個 13人
		個 1人	個 9人			

前回の改善計画	
・継続的に、事業所の地域行事や認知症カフェを開催し、認知症や介護についての学びの機会を持ち続けながら、事業の周知や情報発信のための広報活動を積極的に取り組み、事業所が地域に認識されながら、お互いの機能や理解を深めていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 70%
・継続的に地域行事やオレンジカフェ（認知症カフェ）を開催し、医師が地域に出向いてくれる機会が増え、医療と関わりを持つことが出来ている。また、地域の新たな声や想いを聞くことができ、事業所が地域に認知されるようになってきている。また、事業所がどんなところなのか、地域から理解も深まっているように感じている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	個 2人	事 8人 個 7人	事 3人 個 2人	個 2人	事 11人 個 13人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	個 2人	事 7人 個 8人	事 4人 個 1人	個 2人	事 11人 個 13人
④	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	個 3人	事 7人 個 8人	事 4人 個 1人	個 1人	事 11人 個 13人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	個 3人	事 5人 個 7人	事 6人 個 1人	個 2人	事 11人 個 13人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の体調や家族の状況に合わせて、当日でも即日対応することができており、サービスを調整することができている。 ・サービス内容も適切に実施することが出来ており、利用者の強みをスタッフ会議で、共有しながら関わる事が出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者や家族の状況に応じて、事業所の力のみで支えていることがあり、利用者や家族の理解や協力が得られないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者、家族、地域の声を聞きながら、継続的に事業所の理解が得られるような機会を持ち、適切なサービス支援を行ないながら、利用者の生活の質や家族の介護力の向上を目指した関わりができる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 16 日（土） 18:00～22:00

6. 連携・協働

メンバー 佐藤・久木田・志戸田・小川（君）・野原・大三島・杉本・天谷・山本・高橋・古澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	個 1人	事 11人 個 7人	個 4人	個 1人	事 11人 個 13人

前回の改善計画	<p>・事業所が顔の見える関係を地域に発信し、築くことが出来るよう、地域行事の参加には一年を通して、偏ることなく職員全員が参加できるよう取り組み、また事業所の地域行事（ゆうあいの里夏まつり）には、地域住民（運営推進会議委員を含む）を巻き込み、計画立案から協働して行い、地域の声などを反映させながら、地域や各関係機関とのネットワークが構築できるよう、取り組んでいく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 85%
<p>・地域住民と一緒に行事などを行なうことが出来ており、地域の声などを反映することも出来ている。職員も地域行事に参加することを意識的に取り組んでおり、顔の見える関係づくりが出来ている。何かあった時に頼れる人、相談できる機関が事業所としてネットワークを持っている。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		事 11人 個 5人	個 5人	個 3人	事 11人 個 13人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	事 11人	個 7人	個 4人	個 2人	事 11人 個 13人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	事 6人 個 2人	事 5人 個 4人	個 5人	個 2人	事 11人 個 13人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		事 5人 個 7人	事 6人 個 6人		事 11人 個 13人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・登録利用者以外にも、地域の介護相談等を行なっており、早期から事業所と関わりを持ち続けている地域住民もいる。必要に応じて、訪問や声かけを実施し、各関係機関と情報共有に努めている。</p> <p>・日頃から、地域の困りごとや情報共有を図っており、連携した対応が出来ている。また、重要な地域の会議は事業所として出席し、地域の理解を深めようとしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・地域住民が事業所に訪れる機会は以前と比べたら増えているが、日頃から地域との関わりを持つことができず、また相談拠点としては認識されていないこともある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>・地域や各関係機関と日頃から情報共有を図り、何かあった時に相談できる、助け合いが出来る関係性を深めていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 16 日（土） 18:00～22:00

7. 運営

メンバー 佐藤・久木田・志戸田・小川（君）・野原・大三島・杉本・天谷・山本・高橋・古澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	個 1人	事 11人 個 7人	個 3人	個 2人	事 11人 個 13人

前回の改善計画	<p>・運営推進会議以外に、事業所の行事等の機会を通し、利用者や家族、地域の声を聞き、意見などを記録に残すこと、事業所の行事終了毎に職員間で良い環境づくりに向けた話し合いを持ち、評価した後に運営推進会議で報告し、情報収集と情報共有を図っていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 90%
<p>・地域の声を拾い、行事等に活かすことができ、地域行事に新たな参加者を増やすことができ、事業所をより良くする環境づくりに取り組むことが出来ている。また、適切に運営推進会議で行事報告を実施し、情報共有を図っている。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？		事 11人 個 8人	個 3人	個 2人	事 11人 個 13人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	個 1人	事 10人 個 10人	事 1人 個 2人		事 11人 個 13人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		事 11人 個 11人	個 1人	個 1人	事 11人 個 13人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	事 3人 個 1人	事 8人 個 7人	個 4人	個 1人	事 11人 個 13人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・利用者や家族、地域からの声を受け止め、積極的に行動することが出来ている。 ・新たな行事を開催することができ、地域からの反響も良かった。また国保病院の医師との関わりを持つことが出来ている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・運営推進会議や他の会議での共有できる内容について、出席できていない職員に情報共有が図れていなかった。 ・利用者や家族からの意見、改善点が挙げたものは、職員全員で共有して取り組んだが、職員の意識の差があり、失敗が続くことがあった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>・地域の声を聞き、より良い環境づくりに向けた話し合いの場を持ち、職員全員で共通認識を持って行動する。 ・運営推進会議や他の会議で得た情報の取り扱いに気を付けて、共有することが出来る内容については、情報提供を行ない、職員間の意識を高め、連携を図っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 16 日（土） 18:00～22:00

8. 質を向上するための取組み

メンバー 佐藤・久木田・志戸田・小川（君）・野原・大三島・杉本・天谷・山本・高橋・古澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？		事 11人 個 10人	個 2人	個 1人	事 11人 個 13人

前回の改善計画	
<p>・毎月、どの職員が、どんな研修会に参加したのか、職員全員に書面で周知し、スタッフ会議や申し送りなどを通して、参加した職員が特に学んだこと、感じたこと、今後どんなことを取り入れていくのが良いのか、話し合いの場を作っていく。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 70%
<p>・勤務表や申し送りで、職員がどの研修会に参加しているのか、記載や周知を図っている。職員の研修の参加率は少しずつ良くなり、研修に参加するという意識が根付いている。毎月のスタッフ会議で、研修参加者が、研修に参加しての学びや感想等の報告という形で行なっていたが、実践の支援には繋がっていない。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	事 4人 個 4人	事 7人 個 5人	個 3人	個 1人	事 11人 個 13人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	個 1人	事 10人 個 9人	事 1人 個 2人	個 1人	事 11人 個 13人
③	地域連絡会に参加していますか		事 7人 個 5人	事 4人 個 5人	個 3人	事 11人 個 13人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		事 8人 個 7人	事 3人 個 5人		事 11人 個 13人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>・研修に意識的に参加しており、個々の知識や技術のスキルアップに取り組んでいる。</p> <p>・積極的に会議や集まりの場は参加し、関係性を深めている。</p>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>・研修の内容について、報告はあったが話し合う場がなく、事業所や会社全体に還元できていない。</p> <p>・</p>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<p>・今後も継続して、誰が何の研修に参加しているのか、周知を図り、研修内容については職員全員で話し合う機会を作り、事業所で取り組んでいき、職員全体に還元できるよう取り組んでいく。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 16 日（土） 18:00～22:00

9. 人権・プライバシー

メンバー 佐藤・久木田・志戸田・小川（君）・野原・大三島・杉本・天谷・山本・高橋・古澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	事 1人 個 1人	事 4人 個 8人	事 6人 個 3人	個 1人	事 11人 個 13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス違反、職場モラルの低下が起こらないよう、毎月のスタッフ会議で支援の在り方や理念についてなど確認し、また業務優先になる原因、状況、対策、経過をなど職員全員で共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 50%
	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ会議で毎月、コンプライアンス違反、モラルの低下が起こらないように意識的に取り組んだが、事業所としては、まだ意識が根付いていなく、また、それらを自覚することができずにチームケアの質の低下がみられている傾向にある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	事 3人 個 10人	事 8人 個 3人			事 11人 個 13人
②	虐待は行われていない	事 10人 個 7人	事 1人 個 4人	個 2人		事 11人 個 13人
③	プライバシーが守られている	個 7人	事 11人 個 4人	個 2人		事 11人 個 13人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	個 3人	事 8人 個 5人	事 3人 個 2人	個 3人	事 11人 個 13人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	個 7人	事 11人 個 4人	個 2人		事 11人 個 13人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の支援内容について、スタッフ会議で振り返る機会を持ち続けることが出来ており、その利用者の尊厳やプライバシーに配慮した関わりを統一しようとしている。 ・個人情報の取り扱いについて、守秘義務があることを事業所として意識して取り組んでいる。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・その時その時の場面で、業務優先や職員の価値が優先されていることがあり、その利用者の人権や尊厳に配慮した関わりが出来ていないことがある。 ・スピーチロックとして、「待ってて」や転倒リスクのある利用者に対して「立ち上がったらは危ない」と静止をかけることがあり、グレーゾーンにいるという認識が低い。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の基本的人権、尊厳とはなにか、常に考えて行動することが出来るよう、毎月のスタッフ会議で理解を深めていく話し合いの機会を持つ。また、職員が自分自身の覚知を深めていき、自身の傾向を知ることができる。

A. 事業所自己評価の確認

【事業所自己評価に取り組む姿勢に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

【前回の改善計画】

・自己評価の判断基準を統一するため、事前に説明の機会を設け、スタッフ評価、事業所自己評価と対応し、事業所としての評価を行い、集計し記載していく。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？ (気軽に入り易い構え、案内、雰囲気などになっているか)	8	0	0
2	事業所は、利用者にとって居心地がいい空間になっていますか？ (あなたから見て、利用者が居心地がいい空間となっていると感じるか)	7	0	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？ (事業所が発する不快な音や臭いがないか) (なければ「はい」をチェック)	8	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？ (事業所の正面玄関に鍵がかかっているか) (なければ「はい」をチェック)	8	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・引き続き、事業所に興味を持っていただけるような工夫として、案内板（ウェルカムボード）や事業所便り等を活用し、気軽に事業所に入りやすいように努める。
- ・施設内外の整理整頓を心掛け、来客者が気持ち良く過ごしていただけるよう環境整備を行う。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

【今回の改善計画】※後日記入

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8	0	0
1	職員はあいさつできていますか？	8	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？ (地域=勇足地区 の町民に概ね認知されていると考えられるか)	5	1	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？ (地域住民が日常の困りごと等を気軽に相談できる事業所になっているか)	5	0	3
4	事業所は、地域の行事やイベントに参加していますか？ (事業所が自治会の一員として、地域=勇足地区 の行事等に参加しているか)	8	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・事業所がどのような地域の行事やイベントに参加したのかを、運営推進会議で報告し、情報共有を図る。
- ・地域の困りごと全般のニーズをキャッチする一つの拠点として、地域行事や広報等を通し、地域に密着した関わりを持つことで、地域との関係性と理解を深め、地域から気軽に相談しやすい相談窓口として築いていく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8	0	0
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？ (外出の機会があり、地域住民と会ったときにはふれあえる機会があるか)	5	1	2
2	地域＝勇足地区の方を交えた会議が行われていますか？	6	0	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？ (利用者が、地域＝勇足地区で行われている行事等に参加しているか)	8	0	0
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？ (困りごとを抱えた地域住民に、事業所として相談を受ける体制が整っていることが周知されていますか)	6	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・プライバシー、個人情報に配慮した上で、今後も運営推進会議で情報共有を図り、自治会等と連携しながら、地域での困りごとを抱えた住民の相談の対応を行う。
- ・引き続き、積極的に地域に出向き、困りごと全般のニーズ把握に努め、又、地域での暮らしを支えられるよう相談対応を実施し、必要に応じて、適切な関係機関に繋げていく。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

【改善計画】 ※後日記入

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？ (事業所の状況や取組、イベント等が説明されているか)	7	0	1
2	運営推進会議では、地域の心配な方等の事例検討が行われていますか？ (勇足地区から寄せられた事例の内、推進会議で解決できる事例について検討されているか、又は関連機関へ相談が繋がれているか)	5	0	3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？ (推進会議と勇足地区が連携し、イベントや行事等の取組を共に行える体制となっているか。)	7	0	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	7	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・引き続き、運営推進会議で、プライバシー、個人情報に配慮した上で、「地域の困りごと・相談等について」協議の機能を持ち、情報共有や連携を図ることで、地域で安心して暮らせる体制を整える。
- ・運営推進会議で、事業所の運営状況（日頃の活動内容や行事等）について、詳細に報告し、より良い運営を行なうことが出来るよう改善に繋げていく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？ （非常災害対策計画が整備され、内容を知っているか）	5	0	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？ （事業所が勇足元町自治会の（又は勇足元町自治会を含む）防災訓練に参加しているか）	1	2	5
3	事業所の防災訓練は周知されていますか？	4	1	3
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？ （災害時に最低限の責務（利用者・訪問者の安全の確保）を全うできそうか）	5	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・事業所の防災訓練は、運営推進会議委員に事前に周知し、又、運営推進会議で内容や改善点等を報告する。
- ・引き続き、地域住民の協力を得て、実践的な避難訓練を計画・実施する。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本別町社会福祉協議会	代表者	会長 砂原 勝	法人・ 事業所 の特徴	本別町社会福祉協議会が運営する事業所。 本別町市街地からは離れた所に立地している。 地域住民の方々の理解と協力を得ながら運営しており、利用者の方々の住み慣れた地域 で生活していただくという考えのもと、地域密着型の介護保険事業所としてその機能を 担っている。
事業所名	勇足小規模多機能型 居宅介護事業所 「ゆうあいの里」	管理者	管理者 佐藤 貴浩		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	5人	人	人	人	人	7人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の判断基準を統一するため、事前に説明の機会を設け、スタッフ評価、事業所自己評価と対応し、事業所としての評価を行い、集計し記載していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所としての到達度を表示するとともに、ミーティング前の個人での評価、ミーティングでの事業所での評価をそれぞれ人数集計し、事業所としての評価はどうかをわかりやすくした。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画について、未だ抽象的な部分が多いので、数的にどの程度改善するのか見える化した方がわかりやすいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 各項目に対して、目標値が可視化できるものは数値を設定していく。
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、事業所に興味を持っていただけるような工夫として、案内板（ウェルカムボード）や事業所便り等を活用し、気軽に事業所に入りやすいように努める。 施設内外の整理整頓を心掛け、来客者が気持ち良く過ごしていただけるよう環境整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ウェルカムボードは毎日違った情報を丁寧に書くように心がけている。 郵便物が無造作に配達されていることがあるので、ゆうあいの里専用のポストを作りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ゆうあいの里専用の郵便受けを設置する。 ふれあいの家居住者の郵便物については、郵便局にお願いして、個人の郵便受けに入れてもらうようにする。
C. 事業所と地域の かかわり	<ul style="list-style-type: none"> 事業所がどのような地域の行事やイベントに参加したのかを、運営推進会議で報告し、情報共有を図る。 地域の困りごと全般のニーズをキャッチする一つの拠点として、地域行事や広報等を通し、地域に密着した関わりを持つことで、地域との関係性と理解を深め、地域から気軽に相談しやすい相談窓口として築いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議で資料や写真等で、どのように地域の行事やイベントに参加したのか報告を行い、理解が深まるように実施している。 様々な行事等の企画があり、行事を通して地域から認知され、地域住民の参加も増えている。そこから相談に繋がることもあり、今後も気軽に相談しやすい相談窓口として築いていくことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の行事で、医師が地域に訪れることもあり、地域住民からも好評であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で安心して暮らし続けられるように、地域の困りごと全般のニーズをキャッチし、気軽に相談しやすい相談窓口としての機能を果たすことが出来るように、地域住民が参加しやすいよう地域行事を企画し、事業所から積極的に関わりを持つていく。 事業所から利用者、職員が地域での活動（散歩や清掃活動など）に出向き、交流を深めていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> プライバシー、個人情報に配慮した上で、今後も運営推進会議で情報共有を図り、自治会等と連携しながら、地域での困りごとを抱えた住民の相談の対応を行う。 引き続き、積極的に地域に出向き、困りごと全般のニーズ把握に努め、又、地域での暮らしを支えられるよう相談対応を実施し、必要に応じて、適切な関係機関に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネージャーが積極的にアウトリーチを行い、地域住民のニーズ把握に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の職員は、運営推進会議の他に地域の会議に出席しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民へのアウトリーチの他、引き続き、勇足いきがい館運営委員会、勇足元町自治会総会等に積極的に参加し、ニーズ把握に努めるとともに、ゆうあいの里の相談受付体制の宣伝や事業所の宣伝を行っていく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、運営推進会議で、プライバシー、個人情報に配慮した上で、「地域の困りごと・相談等について」協議の機能を持ち、情報共有や連携を図ることで、地域で安心して暮らせる体制を整える。 ・運営推進会議で、事業所の運営状況（日頃の活動内容や行事等）について、詳細に報告し、より良い運営を行なうことが出来るよう改善に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いに配慮した上で、地域の困りごとや心配な方等の情報共有が図れており、適切に実施することが出来ている。 ・地域行事等は開催前に運営推進会議で、計画や説明をし、委員の協力をいただきながら一緒に取組み、より良い運営に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個人情報に配慮した上で、「地域の困りごと・相談等について」協議の機能を持ち、情報共有を図ることを続けた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で安心して暮らせる体制を整えていくために、引き継ぎ運営推進会議を活用して、「地域の困りごと・相談について」「事業所の運営状況」についてなど、協議の機能を持ち、事業所だけでなく、地域全体を捉えたより良い運営に繋げていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の防災訓練は、運営推進会議委員に事前に周知し、又、運営推進会議で内容や改善点等を報告する。 ・引き続き、地域住民の協力を得て、実践的な避難訓練を計画・実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の協力を得ながら、年2回の夜間想定を含む避難訓練を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画がわからない。 ・防災訓練について運営推進委員には周知されていないのではないか。していないのであれば、参加の可否にかかわらず周知した方がいいのではないか。 ・職員が積極的に消火訓練をした方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加の可否にかかわらず運営推進委員については訓練の周知を図る。 ・より実践的な抜き打ち訓練を検討していく。 ・実際の夜間の訓練を検討していく。 ・気象庁の警報基準等が頻繁に変わるため、非常災害対策計画の作り直しが進んでいないため、最新の情報に基づいた計画に改める。 ・水害時の避難訓練についても検討を行う。

